

# 【緊急セミナー】 職場における熱中症対策義務化への対応

トヨタ自動車株式会社

統括産業医 七浦広志

担当課長 浅野朝郎

## 当社の概要

- ◆所在地 : 愛知県豊田市トヨタ町
- ◆創立 : 1937年(昭和12年)8月28日
- ◆資本金 : 6,354億円 (2024年3月現在)
- ◆生産拠点 : 国内11工場, 海外53工場
- ◆従業員数 : 70,224人(単独 2024年3月現在)  
(連結 380,793人 )
- ◆事業内容 : 自動車の生産・販売 等

# ■トヨタの健康宣言

## トヨタ自動車 健康宣言 ～ 健康第一の会社を目指して ～

心身の健康は「良い仕事をするための原動力」であり、「社員一人ひとりの幸せ」にとって、また家族にとっても大変重要です。

在職中に元気でやりがいを持って働き、定年後も豊かな人生を送ることを願っています。失敗を恐れず「バッテリーボックスに立ってチャレンジ」する当社の風土は、健康面にも通じることであり、一人ひとりの「より良い生活習慣改善へのチャレンジ」をトヨタは積極的に支援し、健康保険組合と連携した『健康増進・疾病予防活動』に取り組みむことをここに宣言します。

2017年9月  
トヨタ自動車株式会社



バッテリーボックスに立ち続けるためにも

健康な心と体づくりから

豊田 章男



※2024年1月安全伝承に向けたコメント

## ■ MISSION

# わたしたちは、幸せを量産する。



社長 佐藤 恒治

トヨタの最大の財産はやはり「人」です  
トヨタで働く一人ひとりの幸せや、  
550万人の幸せがあつてこそその「幸せの量産」  
これからも一人ひとりが「クルマづくり」に関わることで、  
楽しさ・幸せを感じてほしい



# 熱中症撲滅への取り組み



# 熱中症に対する『現在』と『これから』

Step3  
24定期測定を  
踏まえた対応

個人を冷やす手段の充実

Step2

リスク「WBGTのリスク中エリア」、困りごとへの対応  
・ 建屋冷却強化 ・ 工程,休憩スペースの空調

Step1

23「WBGTのリスク高エリア」

2023/10

12

2024/7

10

2025~

# 熱中症対策

- 1:1次予防（未然防止）
  - 1-1:熱中症に対する**知識の獲得と強化**
  - 1-2:**働きやすい環境の整備**（熱源、太陽、空調、休憩場所等）
  - 1-3:**飲水しやすい環境の整備**（場所、時間等）
  - 1-4:**健康管理の充実**（日々の**体調確認**、就業配慮等）
  - 1-5:**個を冷やす手段の充実**
- 2:2次予防（**早期発見・早期対応**）
  - 2-1:**救急隊到着まで**
  - 2-2:**すばやく搬送するには(到着番地、Dr/NSバック)**

# 1:1次予防（未然防止）

## 1-1:熱中症に対する知識の獲得と強化(マニキュアル)

【管理監督者 対象】

普段からメンバーの体調管理、面倒見いただきありがとうございます。

日々コミュニケーション取りながら一人ひとりがいきいきと働けるようご尽力いただいておりますが、例年暑い時期(5月上旬～9月下旬ごろまで)になると熱中症(暑い含む)に関連した体調不良が多く発生しています。そのため、普段以上に面倒見が重要となっております。本マニキュアルを作成しました。

職場メンバー一人ひとりが自分の体調管理ができるよう、職員の皆さんはメンバーにより寄り添って元気に働いてもらうよう、本マニキュアルを活用いただき熱中症(暑い含む)のゼロ達成/継続を目標としましょう。



### 安全健康推進部

2025年4月改訂

## < 目次 >

1. 熱中症とは、主な症状 P.1
2. 未然防止 P.2～6
3. 救急処置方法 P.7

## 2. 未然防止について

### 2) 作業開始前の体調確認

■ 作業開始前に下記のチェックをおこない、作業者一人ひとりの体調確認をお願いします。  
※「健康自己管理表」「健康自己管理一覧」の活用を推奨

- ① めまいはないですか？
  - ② 普段より汗の量は多くないですか？
  - ③ 頭痛、吐き気はないですか？
  - ④ 風邪のような症状はないですか？
  - ⑤ 下痢はないですか？
  - ⑥ 筋力の腫痛やけいれんはないですか？
- ⑦朝食 就業時間前に食事を摂取しましたか？  
⑧飲酒 前日の飲酒量は飲年以内か、1台までですか？  
⑨睡眠 前日は熟睡できましたか？(仕事の開始時刻は？)

①～⑥に該当がある場合、**鍵穴へ相談ください。**  
⑦～⑨に該当以上1つ以上該当した場合、**指導をお願いします。**

## 1) 熱中症とは

■ 気温、湿度が高い環境の中で、身体に熱を持ち、体温が上昇し、**身体が熱や体温の上昇に対して** **できなく引き起こる様々な症状**をいいます。  
(エンジンの発生熱量が冷却性能を上回ってしまえばエンジンラジエーターオーバーヒートと同じです)

■ 腹痛、吐き気、嘔吐、めまい、たちくらみ、筋肉のこむら返り、気分が悪い、気分が熱い、体が熱い、頭痛、吐き気、嘔吐、めまい、たちくらみ、筋肉のこむら返り、気分が悪い、気分が熱い、体が熱い

■ 手足のしびれ、めまい、たちくらみ、筋肉のこむら返り、気分が悪い、気分が熱い、体が熱い

■ 意識がない、叫べない、呼びかけても返事がおかない、体が熱い

■ 早期の対応で、重症化させないことが重要です！  
(重症の場合、死に至ることもあります！)

■ 重症化させないことが重要です！  
(重症の場合、死に至ることもあります！)

■ 重症化させないことが重要です！  
(重症の場合、死に至ることもあります！)

■ 重症化させないことが重要です！  
(重症の場合、死に至ることもあります！)

■ 重症化させないことが重要です！  
(重症の場合、死に至ることもあります！)

■ 重症化させないことが重要です！  
(重症の場合、死に至ることもあります！)

■ 重症化させないことが重要です！  
(重症の場合、死に至ることもあります！)

■ 重症化させないことが重要です！  
(重症の場合、死に至ることもあります！)

■ 重症化させないことが重要です！  
(重症の場合、死に至ることもあります！)

■ 重症化させないことが重要です！  
(重症の場合、死に至ることもあります！)

■ 重症化させないことが重要です！  
(重症の場合、死に至ることもあります！)

■ 重症化させないことが重要です！  
(重症の場合、死に至ることもあります！)

■ 重症化させないことが重要です！  
(重症の場合、死に至ることもあります！)

■ 重症化させないことが重要です！  
(重症の場合、死に至ることもあります！)

■ 重症化させないことが重要です！  
(重症の場合、死に至ることもあります！)

■ 重症化させないことが重要です！  
(重症の場合、死に至ることもあります！)

■ 重症化させないことが重要です！  
(重症の場合、死に至ることもあります！)

■ 重症化させないことが重要です！  
(重症の場合、死に至ることもあります！)

■ 重症化させないことが重要です！  
(重症の場合、死に至ることもあります！)

■ 重症化させないことが重要です！  
(重症の場合、死に至ることもあります！)

## 2. 未然防止について

### 1) 社内の発生傾向と対策

#### (1) 環境面

① 気温25℃を超えた辺りから、多く発生  
気温30℃を超える日は特に注意！

② 送風ファン、空調等のメンテナンスの確認  
⇒空調フィルターの交換は必要ないですか？  
⇒タクト向きは正しいですか？  
(サインローンを妨げていませんか？)  
⇒タクト位置は適切ですか？  
(作業位置変更等に対応できていますか？)

③ 新卒には安全衛生管理者の委嘱事項  
自職場の**暑熱リスクを把握して関係部署と協力**  
**リスク管理及びリスク低減を推進する。**  
設備対策評価についてを参照。

## 2. 未然防止について

### (2) 体調面

① 前日または就業前の体調不良  
体調不良時はすぐ上司に相談！  
(体調不良を重症化させない！)

② 暑熱順化  
梅雨から夏期になる時期、夏期連休中は、計画的に、暑熱順化期間を設ける。

③ 休み明け、特に夏期連休明け後1週間、多く発生！  
(週明けの月・火に発生する傾向あり)

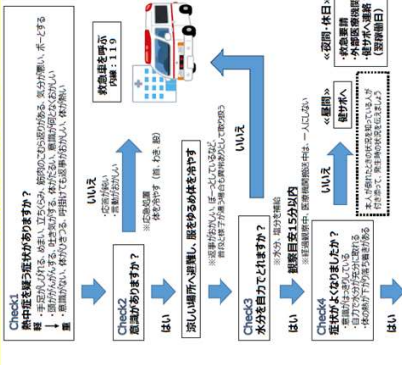
④ 熱中症に過去あったことのある方  
発症しやすい傾向にあるので、特に注意！

⑤ 朝食の未摂取  
朝何か食べることを、まぜ習慣化！

⑥ 未経験者には体調面での声かけを重点的に実施  
期間中は未経験者の健康管理へ  
I. 朝食摂取の有無、  
II. 飲酒の状況 (1台まで/日)  
III. 十分な睡眠

※健康自己管理表の活用を推奨

## 3. 救急処置方法について



そのまま安静にして十分に休息をとる  
＜休憩場所＞  
・涼しい場所  
・直射日光が当たらない場所  
・冷たい飲み物(常温)が飲める場所  
・必要に応じて冷たいタオルを顔に当てる

## 2. 未然防止について

### 4) 作業中への体調指導

① 作業中は、定期的(ごまめに)水分+塩分をとる  
{ 勤務時間中は推奨して、500ml(ごまめに)1000ml/日の水分 (0.1%～0.2%の塩分量)を摂取(スポーツ飲料など) }

② 朝食は、必ず食べる  
{ 朝に腹を食へることで、睡眠中に失った水分・塩分を補給 }

③ 飲酒後は水分を多く摂り、脱水に注意  
{ 飲酒により、飲んだ分以上の水分が体から出る  
{ 飲んだ後は、水分をしっかりと摂る }

④ 暑熱から十分な睡眠、休息をとる  
{ 睡眠不足により暑熱リスクが上昇し、脱水や疲労が回復 }

⑤ 体調不良時は、早めに上司に相談  
{ 体調不良を重症化させないことが重要  
{ 我慢せず、すぐ上司に相談 }

5) 熱中症を疑う症状があった場合  
■ 管理監督者は、直ぐに各事業場鍵穴へ連絡し受診させる。夜間休日でも救急車出動が必要な時は、警備室へ連絡。固定電話内線 ⇒ 119 会社携帯から ⇒ 252

## 2. 未然防止について

### 3) 体調不良者の早期発見

■ 十分なコミュニケーション、ごまめな職歴速報 等による体調不良者の早期発見をお願いします。  
(大勢の前では体調不良を申告できずにいる方もいます)

■ 早期の対応で、重症化を防ぎましょう！  
{ 体調の変化を伝えるには？  
作業者からの回答や様子だけなくツールを活用して客観的に把握することも有効です。ツールの活用によりコミュニケーションのきっかけになります。 }



## < 目次 >

1. 熱中症とは、主な症状 P.1
2. 未然防止 P.2～6
3. 救急処置方法 P.7



# 1-1:熱中症に対する知識の獲得と強化 2025/04 法改正対応 (マニュアル更新)

## ▼熱中症マニュアル<STOP!熱中症>更新

### <早期発見>

#### 2. 未然防止について

##### 3) 体調不良者の早期発見

- **十分なコミュニケーション、こまめな職場巡視** 等による体調不良者の早期発見をお願いします。(大勢の前では体調不良を申告できずにいる方もみえます)

#### 【早期、早めの対応で、重症化を防ぎましょう!】

##### 【体調の変化をとらえるには?】

作業者からの回答や様子だけでなくツールを活用して客観的に把握することも有効です。

ツール活用によりコミュニケーションのきっかけにもなります。



##### 【ツールの特徴例】

検知方法	熱	生体情報(心拍)
原理	皮膚などに接しているセンサーから熱をモニタリング	光の反射や電気パルスから心拍を取得し体調モニタリング
特徴	汗をかくのが苦手(脱水不足気味)な新人や復職者の初期に向いている。軽しい。	幅広く適用可能(学習履歴があれば番組と連動も把握できる)
注意点	熱(体温)が上がらない症状(脱水症など)は検知しにくい	無自覚な体調変化も捉えることの理解が必要
製品例	カナリア	Smartfit, ハモンバンド

### <体調指導>

#### 2. 未然防止について

##### 4) 作業者への体調指導

- ① 作業中は、定期的(こまめに)水分+塩分をとる**  
〔勤務時間中は推奨として、500ml~1000ml/日の水分(0.1%~0.2%の場合含む)を摂取(スポーツ飲料など)〕
- ② 朝食は、必ず食べる**  
〔朝ご飯を食べることで、睡眠時に失った水分・塩分を補給〕
- ③ 飲酒後は水分を多く摂り、脱水に注意**  
〔飲酒により、飲んだ以上の水分が体から出る。飲んだ後は、水分をしっかり摂る〕
- ④ 暑段から十分な睡眠、休息をとる**  
〔睡眠不足により体温コントロールが低下。十分な睡眠時間を確保し、脳と体を回復〕
- ⑤ 体調不良時は、早めに上司に相談**  
〔体調不良を重症化させないことが重要。我慢せず、すぐ上司に相談〕



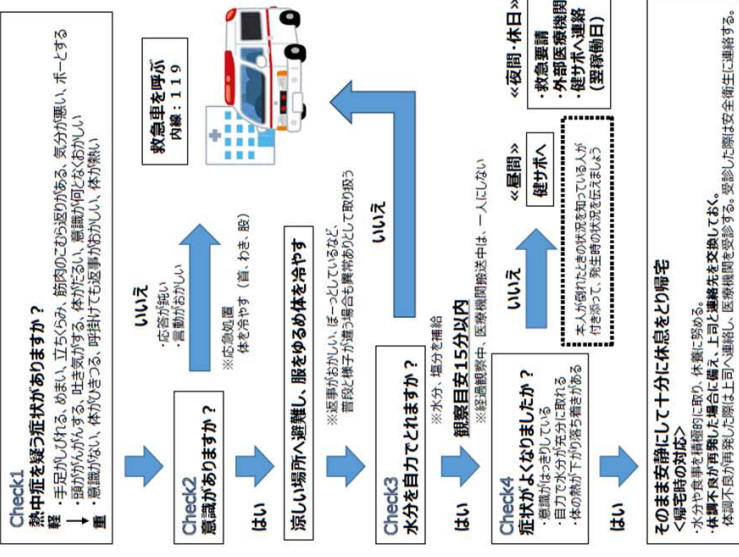
##### 5) 熱中症を疑う症状があった場合

- 管理監督者は、直ぐに各事業場健サポへ連絡し受診させる。夜間休日で公設救急車出動が必要な時は、警備室へ連絡。

固定電話内線 ⇒ 119  
会社携帯から ⇒ [055-555-555](tel:055-555-555)

### <手順>

#### 3. 救急処置方法について



# 1-1:熱中症に対する知識の獲得と強化：熱中症警戒アラート

▼熱中症警戒アラート ※安健部から全組長（CC：全部長）+関係者への啓発メール

熱中症警戒アラートとは、環境省・気象庁が提供する、極めて高い暑熱環境が予測される際に、暑さへの「気づき」を呼びかけ、熱中症予防行動を効果的に促すための情報。

## アラートを有効に活用し、熱中症予防をお願いします

- ・組長以外でアラート情報が必要な方の[メールリスト作成](#)（事務局）
- ※各事業場独自の取り組みとの錯綜などの理由で、組長へのアラート情報が不要の事業場については別途連絡ください。

24年～

安健部

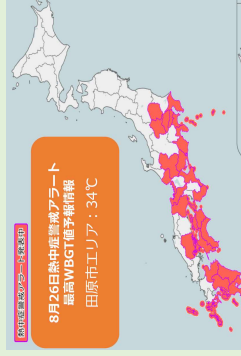


全部長

全組長

関係者

【熱中症警戒アラート：メール】  
WBG<sub>T</sub>33℃以上と予測される  
当日8:00頃発信



【熱中症警報：T-wave】  
気温35℃以上と予測される  
前週金曜日17:00までに発信

※熱中症警報は、日本気象協会より提供される。日本気象協会が提供する。日本気象協会が提供する。日本気象協会が提供する。

30日 (月)	31日 (火)	1日 (水)	2日 (木)	3日 (金)	
▼田原市エリア	35℃	34℃	31℃	29℃	28℃
▼田原市エリア	31℃	32℃	30℃	29℃	28℃
▼名古屋中部エリア	34℃	34℃	32℃	29℃	30℃
▼伊勢湾中部エリア	31℃	33℃	27℃	28℃	29℃
▼東海北部エリア	32℃	33℃	28℃	27℃	30℃

想い：職場へタイムリーに展開、作業者に近い組長へ発信し  
職場の面倒見強化に繋げたい（部長はCCで展開）

### 発表時の予防行動

1. 気温・湿度・暑さ指数（WBGT）を確認
2. 熱中症リスクの高い方に声かけ
3. 「熱中症予防行動」を普段以上に実践

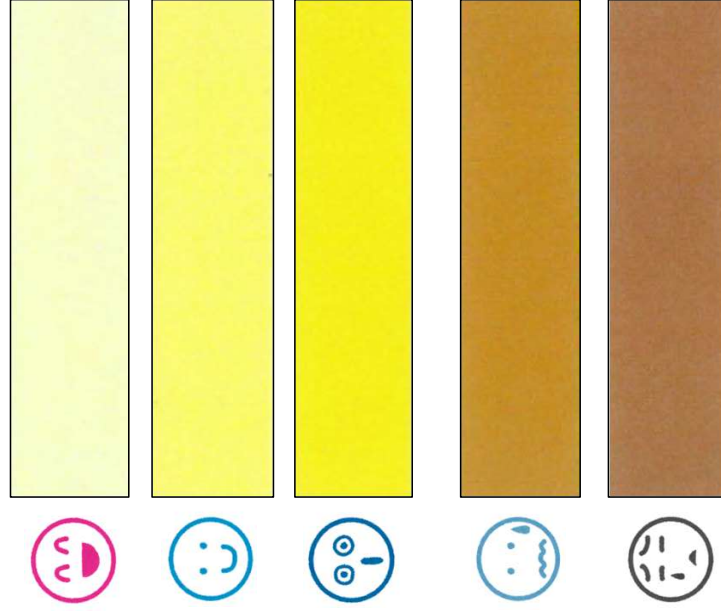
- 「熱中症予防行動」とは
1. 暑さを選ばず
  2. 適宜マスクを外す
  3. こまめな水分補給
  4. 日頃から健康管理
  5. 暑さに備えた体作り

# 1-1:熱中症に対する知識の獲得と強化：尿カラーチャート

## ▼尿カラーチャートの枚数確認・掲示（任意）

※内容は昨年と変更ないため、継続で掲示している場合はそのまま使用ください。

### 脱水レベルを尿の色によって判定し、注意喚起しましょう。



【問題なし】

普段通りに水分を取りましょう。

【問題なし】

問題ありませんが、コップ1杯程度の水分補給をしましょう。

【軽度の脱水症状が認められます】

1時間以内に250mlの水分補給しましょう。

屋外にいる場合や汗をかいている場合は、500mlの水分補給をしましょう。

【脱水症状が認められます】

今すぐに250mlの水分補給しましょう。

屋外にいる場合や汗をかいている場合は、500mlの水分補給をしましょう。

【危険な状態です】

今すぐに1000mlの水分補給しましょう。

この色より濃い場合や赤／茶色が混じっている場合はすぐに病院受診しましょう。



出展：厚生労働省ホームページ「尿の色で脱水症状をチェック」



# 1-1:熱中症に対する知識の獲得と強化

ポスター



社内講演会



Web配信動画





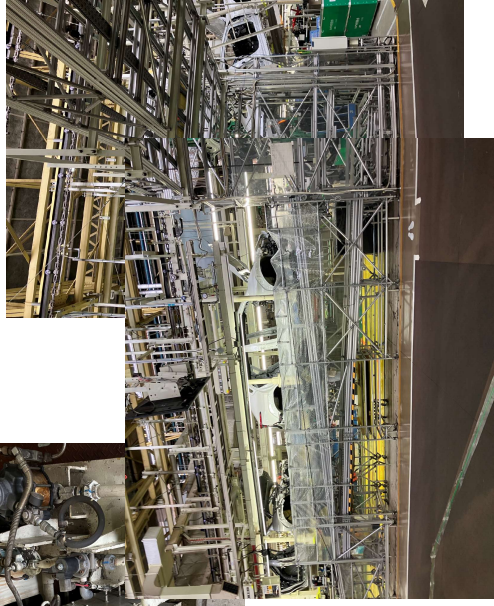
## 1-2:働きやすい環境の整備 熱源を撤去、減少、代替、

- 炉・油圧ポンプ等の廃止、断熱、省力電動モーター化
- 常時運転から間欠化運転へ、容量の最適化、
- (熱源)機械類の排除、運転時間の短縮、

断熱



間欠運転



動力を使わない搬送



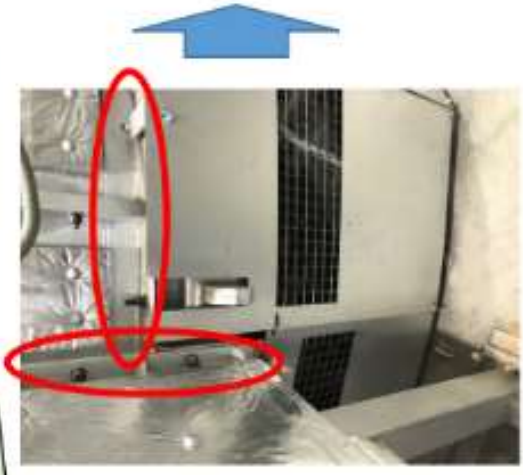
# 1-2:働きやすい環境の整備 熱源を撤去、減少、代替、

事例) 断熱工事における詳細仕様差の影響

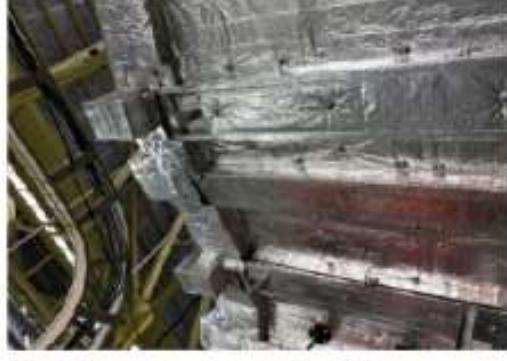
TNGA#4ライン熱処理炉 リブ部分の断熱材追加工事

リブ部分 (面積比率ではたった5%程度)

施工前



施工後





# 1-2:働きやすい環境の整備

## 油圧ユニットの間欠運転化

### 油圧ユニットを常時運転

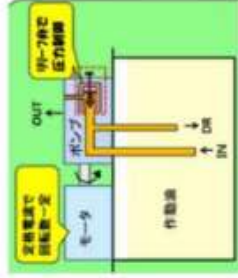
#### 【対象設備】

- ・治具クランプのみ油圧を使用している設備

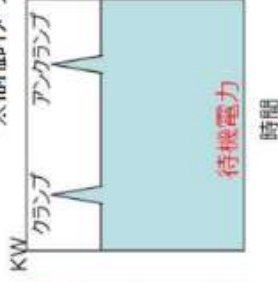
#### 【狙い】

- ・油圧ユニットは運転準備ONで常にモーターが動作、待機電力大
- ・省エネ油圧ユニット（インバーターモーター）で使用電力量低減

#### 油圧ユニット(従来)



※制御イメージ



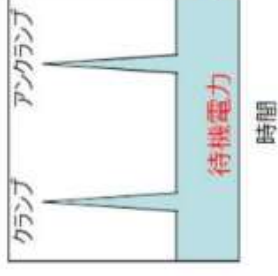
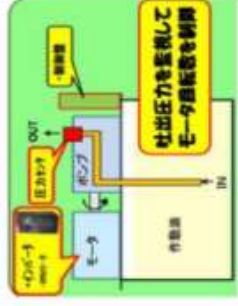
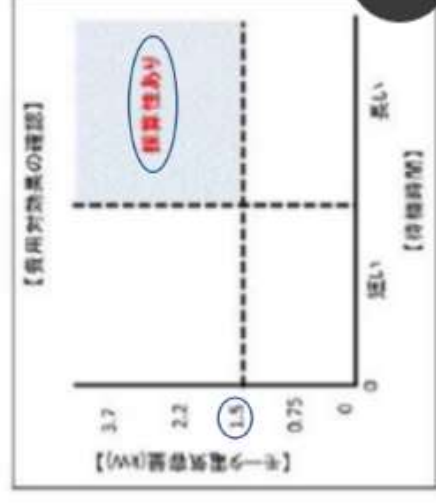
### 油圧ユニットを間欠運転化

#### 【油圧ユニット(採用品)】

- ・ダイキン工業製エコリッチ (高効率IPMモーター採用)

#### 【採算性】

- ・待機時間が長く、且つモーター電気容量1.5kW以上で回収目途付け



▲60%

# 1-2:働きやすい環境の整備（空調、休憩場所等）

## 空調設備の整備



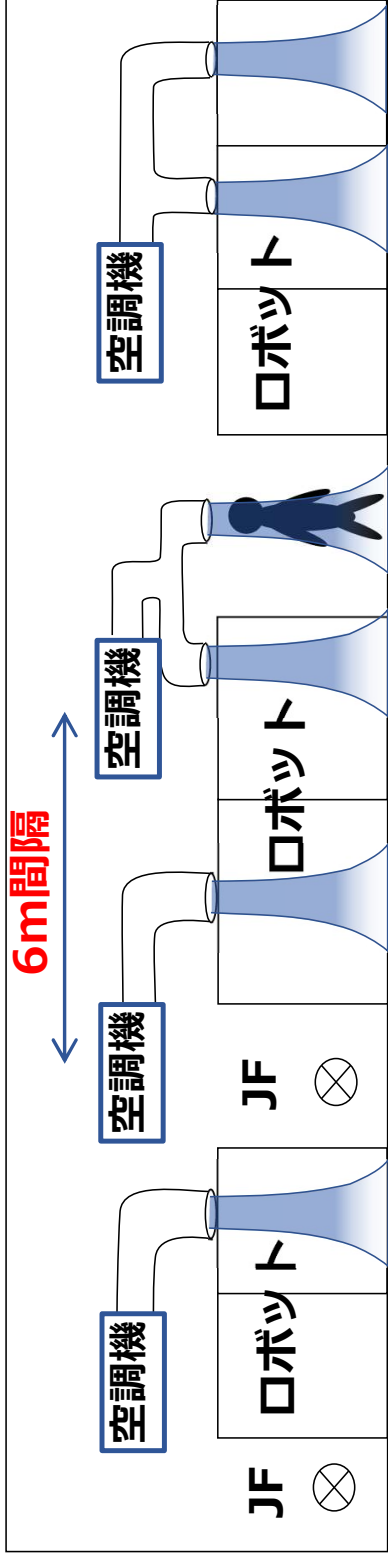
## スポット空調の設置・増設

## 作業ゾーンでの空調整備

# 1-2:働きやすい環境の整備（空調、休憩場所等）

## 現状

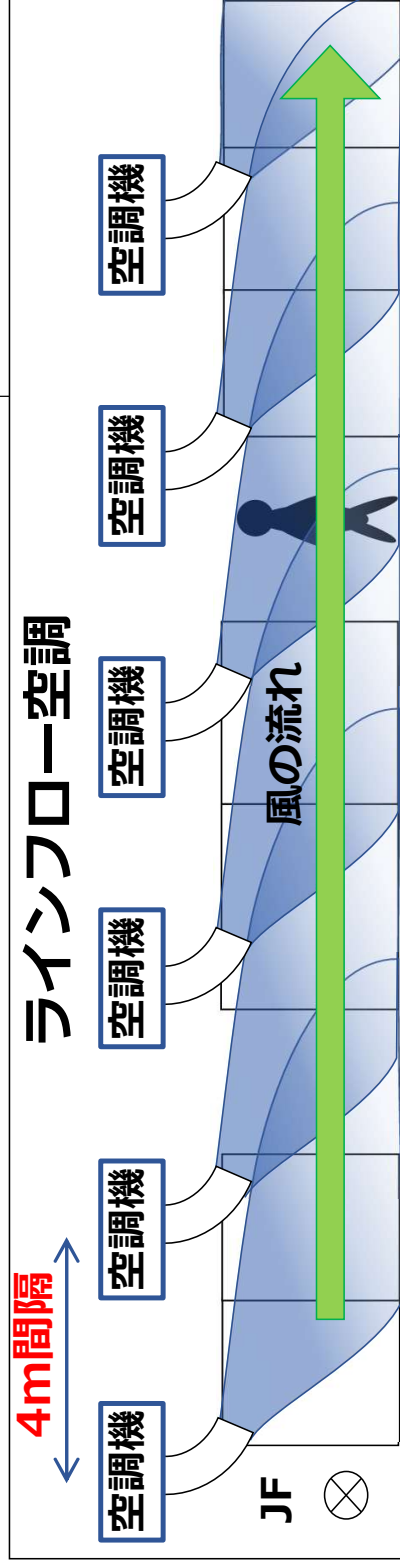
- ・ワークセット位置だけ空調が当たるスポット空調



## トライ内容

- ・空調のラインフロー化（風の流れを統一）
- ・空調機の増設（6m間隔⇒4m間隔）

工程全体を涼しく

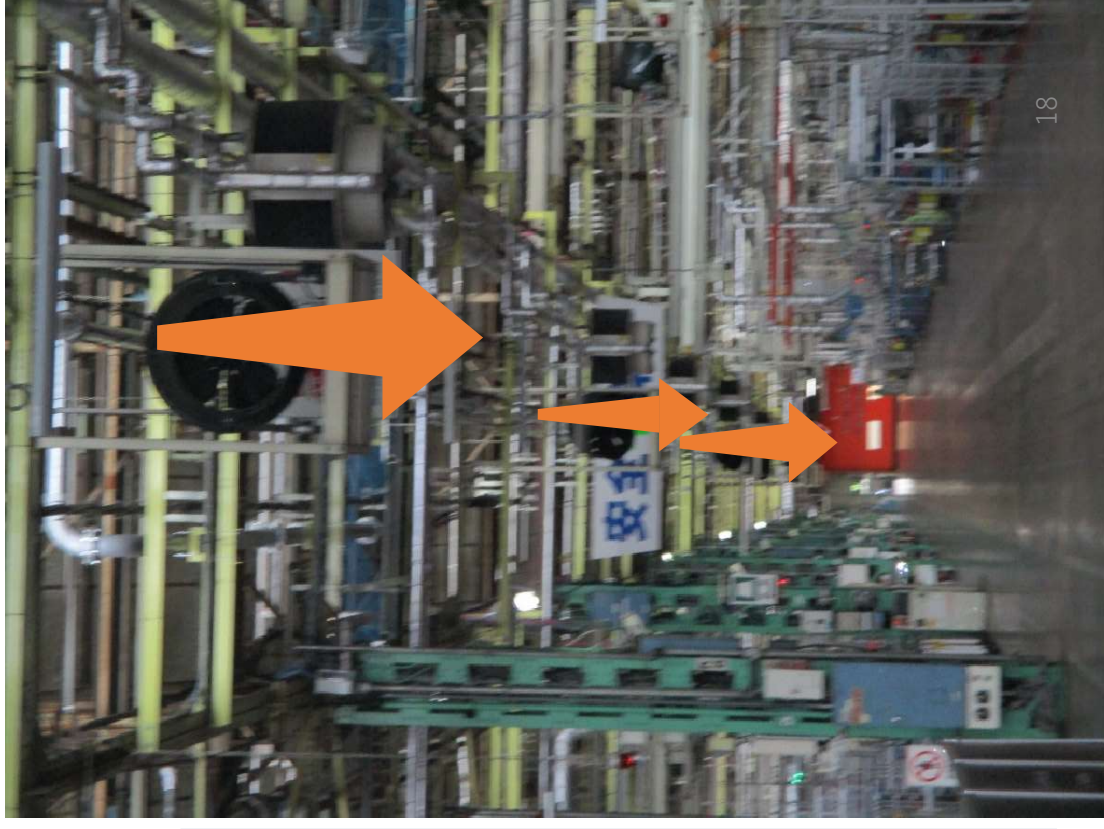
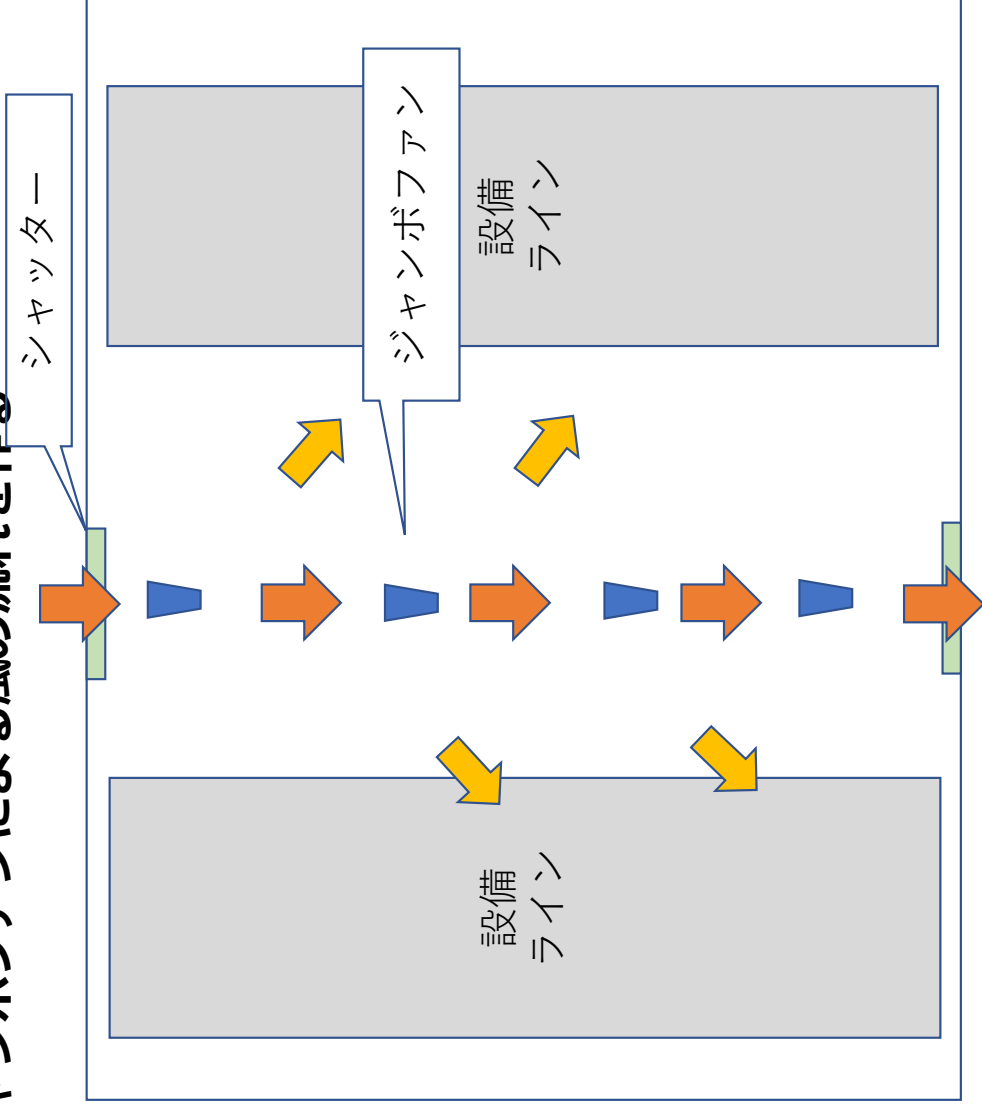




# 1-2:働きやすい環境の整備（空調、休憩場所等）

## 全体換気

ジャンボファンによる風の流れを作る





# 1-2:働きやすい環境の整備（空調、休憩場所等）

1:熱源の遮熱・冷却

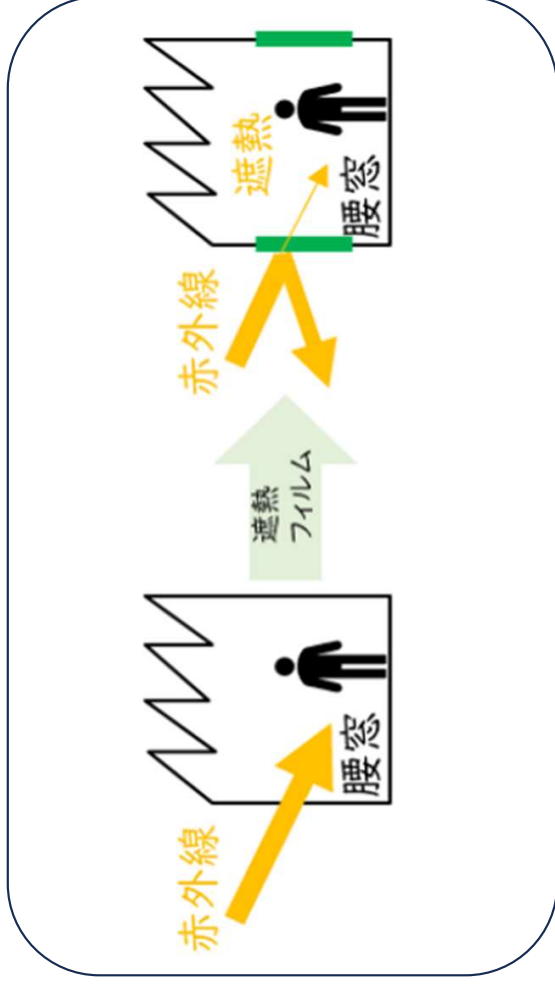


2:自動化

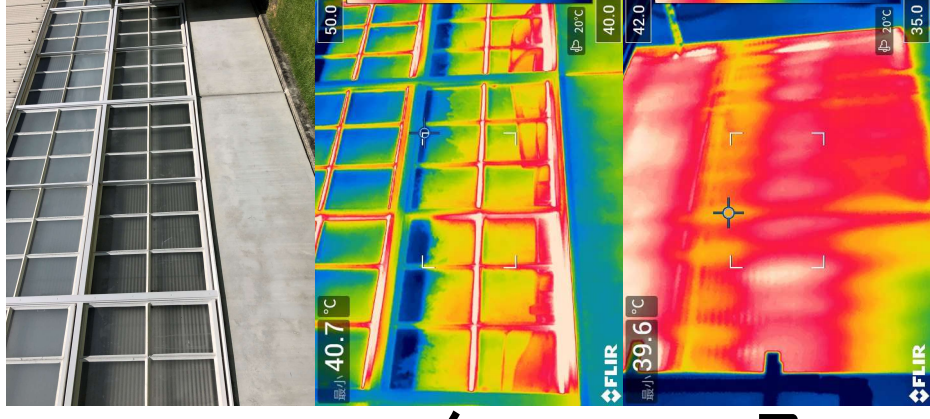


# 1-2:働きやすい環境の整備（空調、休憩場所等）

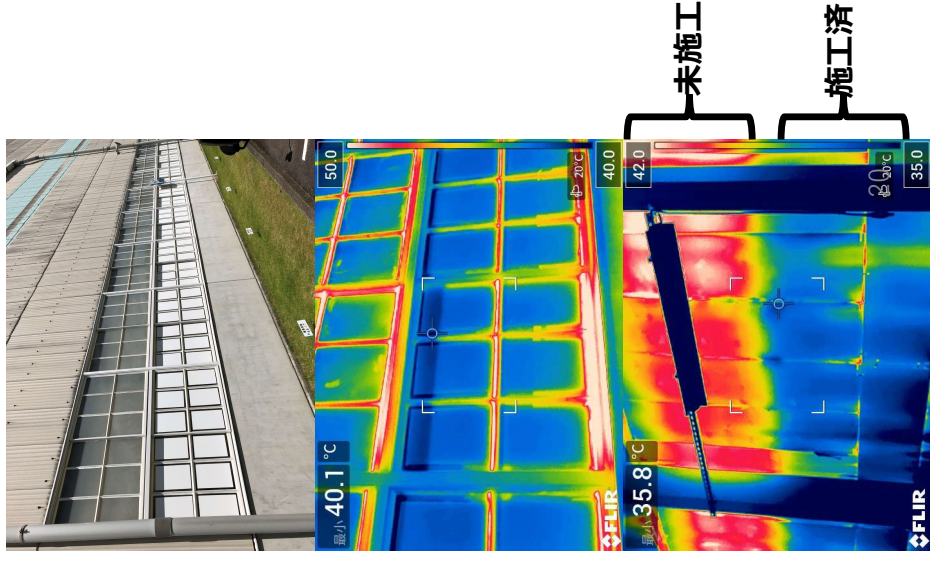
## 遮熱フィルム（全鋸屋根工場 腰窓）



未施工エリア



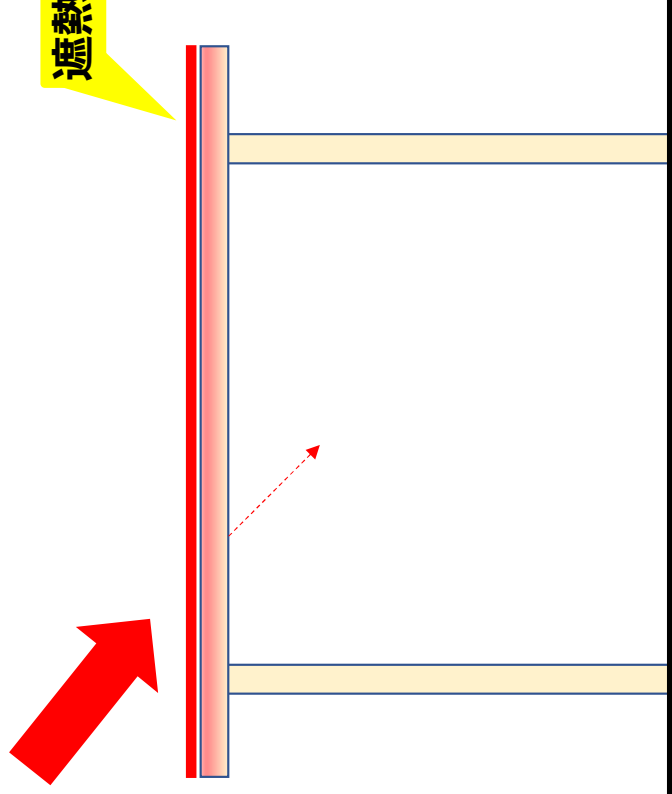
施工エリア



太陽光による入熱を遮断

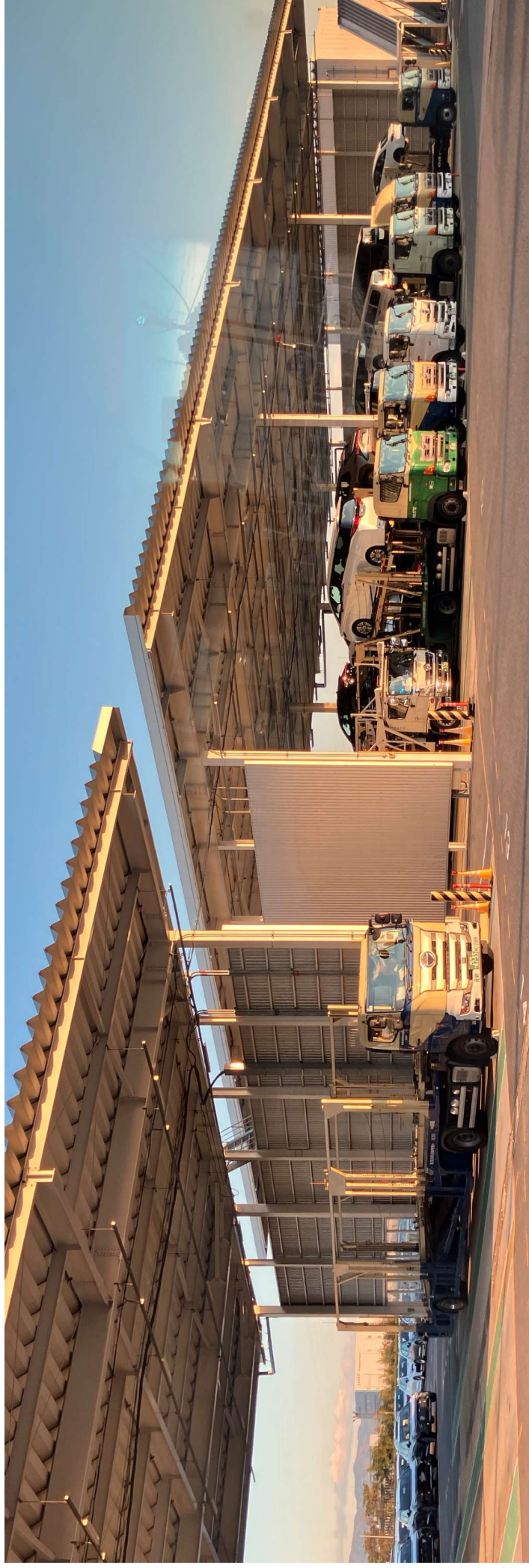
## 1-2:働きやすい環境の整備（太陽光の断熱）

遮熱塗料を屋根に塗ることで、太陽によって温められた屋根の熱を遮断する





## 1-2:働きやすい環境の整備（太陽光の断熱）



上屋の整備

# 1-2:働きやすい環境の整備（空調等）

## リフトクレーン製品化



60 W/台



安全性/快適性/省エネ性/耐久性/耐久性を兼ね備えた  
フォークリフト専用クーラーを導入



空調が設置されて  
いない社内産業車輛

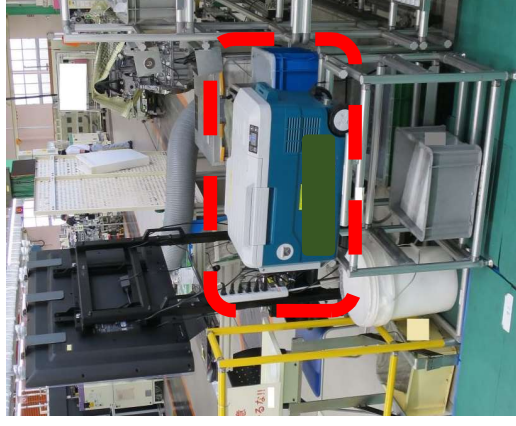
### 屋外や空調がない場所を走行する車輛への空調設置



## 1-3: 飲水しやすい環境の整備（場所、時間等）



冷蔵庫



冷蔵機能付き  
クーラーボックス



仕事場近くで、簡単に、気軽に飲水できるような環境を整備

# 1-4:健康管理の充実（日々の体調確認、就業配慮等） 2021-22年通院疾患と熱中症発生リスク

通院疾患	オッズ比 (p値)
高血圧	0.6 (p=0.273)
高脂血症	0.8 (p=0.832)
糖尿病	1.1 (p=0.522)
腎疾患	2.6 (p=0.116)
睡眠時無呼吸	3.7 (p=0.106)
癌	1.2 (p=0.556)
皮膚疾患	2.1 (p=0.106)

P<0.05を有意な差  
があると見る

有意差なし

理由

生活習慣病を含めた表記の疾患有無での熱中症発生に差を認めない  
 「確実な定期健診実施」「適切な事後措置」「日々の体調確認」等  
 が寄与したと考えられる



# 1-4:健康管理の充実（日々の体調確認、就業配慮等）

期間：5/1～9/30

— 月 熱中症予防 健康自己管理票

所 属 室・課	従業員コード	氏 名	年 令	性 別
G・組				

- ◆熱中症・夏期体調不良の防止には、日々の健康習慣がとて重要です。特に、朝食・飲酒・睡眠の生活習慣を整えることが予防へとつながります。
- ◆作業開始前に、下記内容について、「はい○・いいえ→×」を記入してください。
- (2)(3)(4)は健康チャレンジ8の項目です。その他の項目も一緒に意識してみましょう。

- ・適正体重：BMI25未満
- ・間食：夕食後、寝るまでの間食は週2日以下。
- ・運動：1日30分以上の運動を週1日以上。
- ・禁煙：禁煙している。
- ・ストレス：多いほうではない。

※注意事項（組長・GMの皆様）

備考使用時、チェック内容が他の人の目に触れる場合、本人に説明いただき、同意の下で使用ください。本人の了承が得られた上で、本人の自筆で名前



## (1)体調確認

- ①めまいはないですか？
- ②普段より汗の量は多くないですか？
- ③頭痛、吐き気はないですか？
- ④風邪の様な症状はないですか？
- ⑤下痢はないですか？
- ⑥筋肉の硬直やけいれんはないですか？

- (2)朝食：就業時間前に食事を摂取しましたか？
- (3)飲酒：前日の飲酒量は飲まないか、1合までですか？
- (4)睡眠：前日は熟睡できましたか？  
(すっきり目覚めましたか？)

	AM	PM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
(1)体調確認															
①めまいはないですか？															
②普段より汗の量は多くないですか？															
③頭痛、吐き気はないですか？															
④風邪の様な症状はないですか？															
⑤下痢はないですか？															
⑥筋肉の硬直やけいれんはないですか？															
(2)朝食：就業時間前に食事を摂取しましたか？															
(3)飲酒：前日の飲酒量は飲まないか、1合までですか？															
(4)睡眠：前日は熟睡できましたか？ (すっきり目覚めましたか？)															
組長・GM確認															
工長・室長確認															

<本人> <組長・GM> <工長・室長>

記入

・1回/日 本人のチェックをご確認ください。  
・①～⑥に×があれば、健康管理室へご相談ください。  
・(2)～(4)に×が2日以上続いた場合、指導をお願いします。

### 徹底事項

1. 勤務時間中は推奨として、500ml～1000ml/日の水分(0.1%～0.2%の塩分含む)を摂取しましょう。(例：スポーツ飲料等)
2. 頭痛、めまい、吐き気、立ちくらみ等、体調不良を感じたら、速断せず、すぐに上司に相談しましょう。
3. 万が一発生した場合、涼しい環境へ避難、脱衣と冷却、水分・塩分補給を実施し、連絡。⇒各事業場 健康管理室へ連絡又は、夜間休日で公設救急車出動が必要な時は、警備室へ連絡。





## 1-5:個人を冷やす手段の充実

- 冷却機能付き空調服の導入
- ドライアイスジャケットの導入
- 社内自動販売機での飲料購入費用補助
- アイスラリーの使用 等



未着用 37°C  
(身体表面温度)



着用 28°C  
(身体表面温度)

# 1-5:個人を冷やす手段の充実

## アイスラリーの使用

### A事業所

鑄造、エンジン組立 etc



### B事業所

車輛製造、組立 etc



# 2:2次予防(早期発見、早期対応) 2-0:すばやく搬送するには(応急処置フロー)

## 熱中症の応急処置フロー

★熱中症を疑う症状がある場合は、下記フローに対応する。

判断が出来ない場合は健康サポーター(6841)へ連絡

### ① 熱中症を疑う症状がありますか？

- めまい・失神・筋肉痛・筋肉の硬直・頭痛・吐き気・嘔吐・倦怠感
- 大量の発汗(Tシャツに白く塩がういている)・気分の不快感・意識障害(返答がおかしい)・けいれん・高体温
- 手足の運動障害(真っすぐ歩けない等)

熱中症は  
死に至るケースが  
あるため要注意!

はい

### ② 意識はありますか？ (呼掛けに反応しない)

はい

- ・涼しい場所へ避難し、衣服をゆるめ身体を冷やす(足を高くする)
- ・着替えがある場合、着替えさせる

いいえ

### ポイント

- ・濡れタオルで身体を湿らせ、うちわ、扇風機等で高発させる
- ※気化熱で冷やすのが最も有効!
- ・深部体温で40℃を越えると全身けいれん、意識障害発生

保安課へ救急車を要請し、応急処置開始

救急車が来るまで  
職場で対応

- ・涼しい場所へ避難し、衣服をゆるめ身体を冷やす(足を高くする)
- ※冷やしすぎに注意!

【田原保安連絡先】  
会社固定電話(内線): 119

会社PHS: 0119

個人携帯(外線)





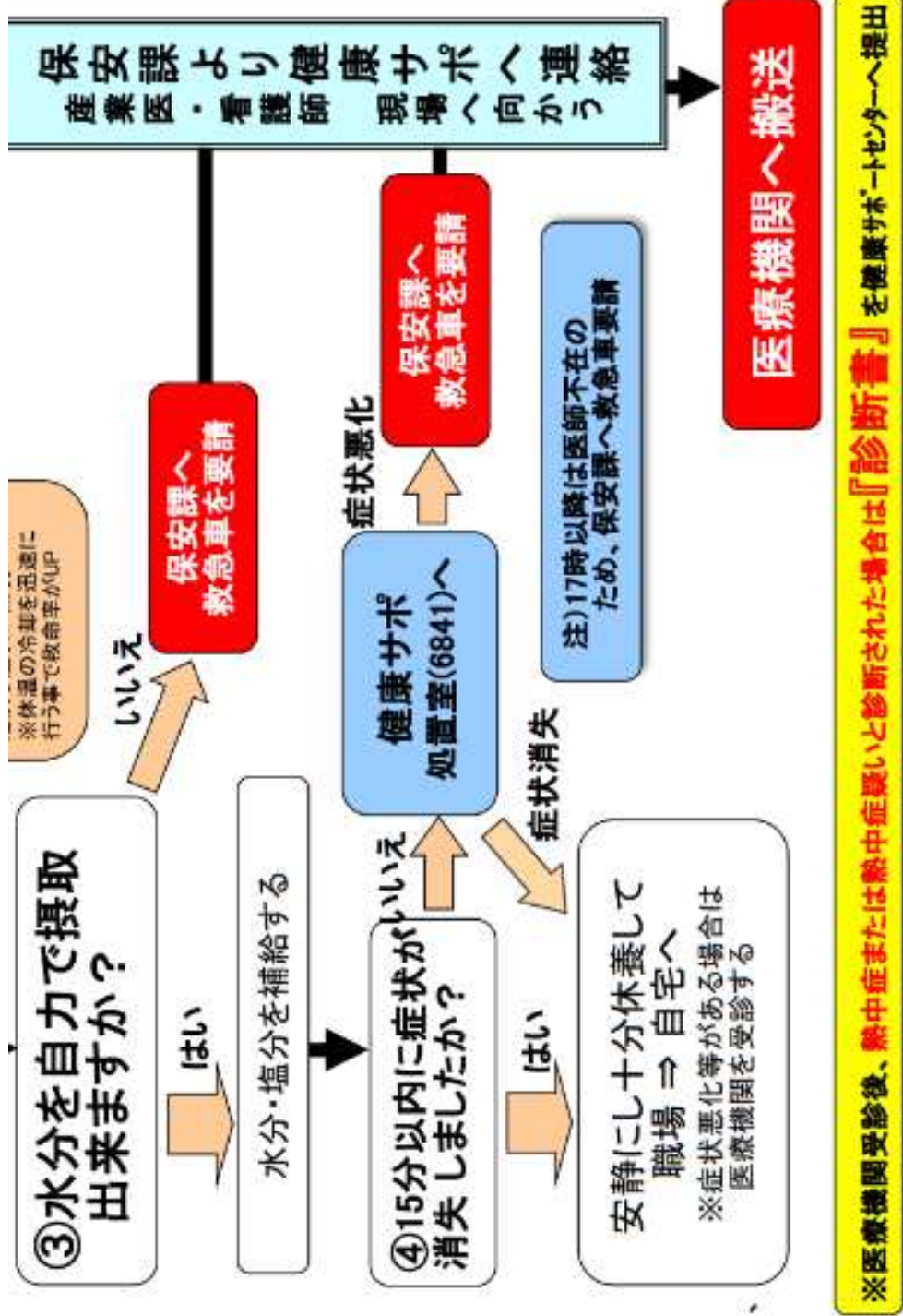
# 2:2次予防(早期発見、早期対応) 2-0:すばやく搬送するには(応急処置フロー)

帰宅後の連絡が大切

【寮生】  
寮務員による声掛け、見回り、急変時の対応と連絡方法。

【近親者】  
病状のご説明と近くの医療機関の確認。搬送・報告のお願い。

【おひとり】  
職場上司による定時確認と万が一の対応準備。







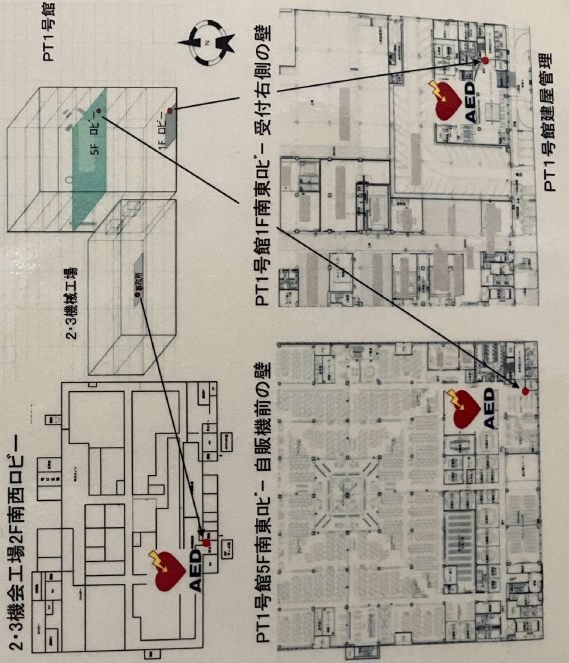
# 2:2次予防(早期発見、早期対応) 2-1:救急隊到着まで

## 工場マップ、救急車停車場所



【自動体外式除細動器 設置施設】

### PT1号館AED設置場所案内



1~8F

### 救急隊使用 エレベーター

このエレベーターは緊急時に使用します。  
ご協力よろしくお願ひ致します。

①  
エレベーター

ここは  
南東エレベーター

【救急連絡先】  
①内線 119  
②会社携帯 内線 811-3-1318  
③個人携帯 外線 0565-23-1318

総務部施設管理課PT1号館





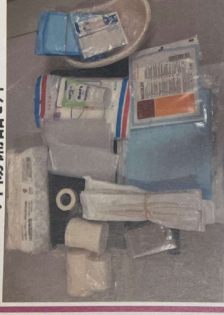
# 2:2次予防(早期発見、早期対応)

## 2-1:救急隊到着まで

### 2-2:すばやく搬送するには(Dr/NSバック)

#### ドクターバック内容一覧

外傷備品セット



輸液備品セット



薬品セット①

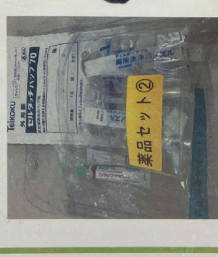


- ・輸液セット② (輸液セット①と同じ)
- ・BVM
- ・針捨てBOX

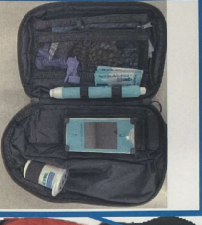
輸液セット①



薬品セット②



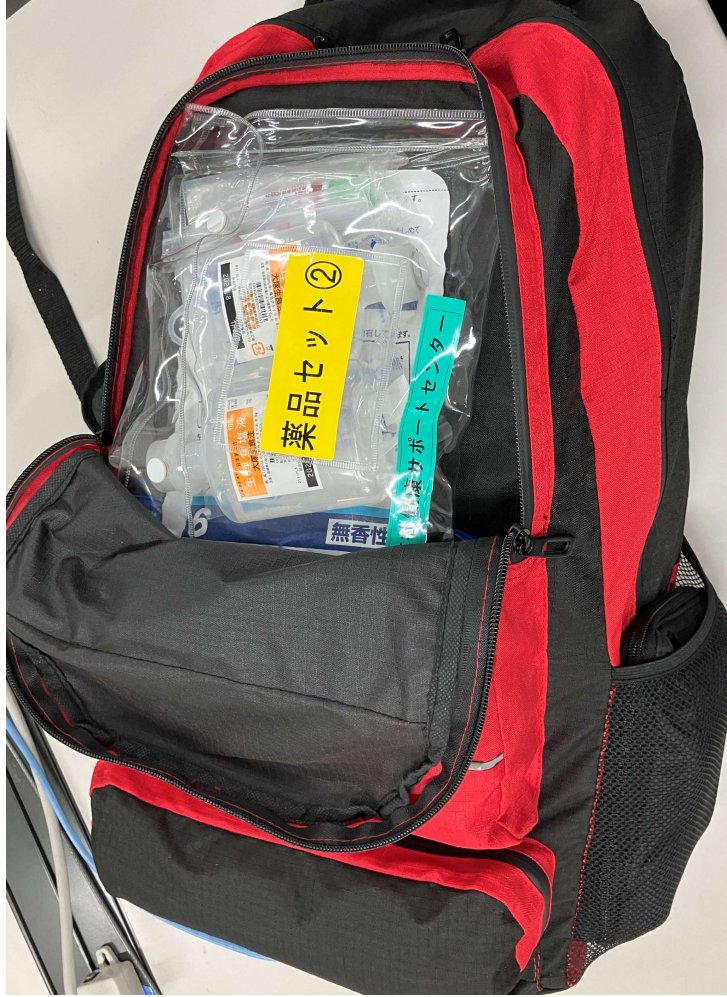
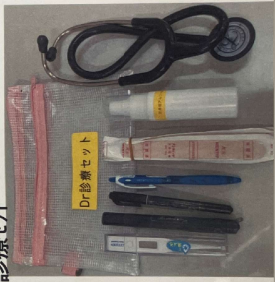
血糖測定セット



Dr診療セット



Dr診療セット



# 2:2次予防(早期発見、早期対応)

## 2-1:各職場でのフロー図が大切

